

玄関出入り素早く／友達と会話ベランダで

学級別にコロナルール

福井・至民中 感染防止生徒で議論

福井市至民中で2日、学校生活での新型コロナウイルス感染予防策を考える授業が全校一斉にあった。生徒玄関が密になるからすく

た。授業は学校のルール以外に感染予防のため何ができるか考えさせようと、総合的な学習の時間に行った。1年生の学級では、学校生活で生徒たちが密集、密接する場面を班ごとに議論。ロッカーや手洗い場は使いたい時間が同じ「玄関は3学年が集まる」と発表し合い対策を考えた。3年生の学級では、感染予防のため生徒同士の距離を保ちつつ、友達関係も大事にするルールを考え「友達と話すときはベランダを有効活用する」「友達を手をつないだり、抱き合ったりはしない」と決めた。

学校再開で「やっと友達と話せて楽しい」と話す重山和輝さん(3年)は「ベランダは涼しく景色もいい

のでもいいアイデア」。吉田妃那さん(同)は「女子は手をつないだり腕を組んだりすることがあるから気を付けたい」と話していた。至民中は本年度の総合的な学習の時間のテーマを

新型コロナウイルス感染防止に向けた学級のルールを話し合う生徒たち＝2日、福井市至民中



「感染症対策を通じて社会と関わる」に決めた。中学生の目線でコロナ後の社会の在り方を探り、1年生は

地域に発信。2年生は新聞に投稿し、3年生は市や県に提言する予定。

(小林真也)